



⑤旧長溝

はぐちずいどう
端口隧道の出入口間約2,500mは、1945年(昭和20年)の台風被害により使えなくなった。



⑥端口隧道入口

長溝の被害を受け、延長約360mのトンネル工事に着手し、1950年(昭和25年)完成。



⑦端口隧道出口

やまぐちフラワーランド内にある。水路の短縮で漏水が減った。水はフラワーランドの園路の下を通り、分水施設に至る。



⑧分水施設

やまぐちフラワーランド入口の北にある。長溝の水を分けるための施設。



⑨新庄地区の長溝

昭和40年代にコンクリートの溝に改修し、漏水が少なくなった。



⑩長溝公園内の堰

田に水を入れる時は、ここをせき止めて長溝に水を流す。



⑪余田堀の終点付近

元取水口の標高は約33m、終点付近は約15m。標高差わずか約18m。



④柳北小学校近くの長溝

新庄の長溝 (山口県柳井市)

●新庄の長溝とは

山口県柳井市柳井櫛ヶ谷、黒杭川(柳井川支流)の一の井出(取水口)を起点とし、新庄を経由して、余田堀に至る灌漑用水路です。

新庄第4代庄屋の岩政次郎右衛門(1656~1736年(明暦2~享保21年))は、父与左衛門の悲願を聞いて長溝の築造を企画しました。岩国領主の吉川公に願い出て、3か年の歳月を要し、1689年(元禄2年)に延長約7km(当時)の長溝を完成させました。それまで干害に悩まされてきた農民は、岩政次郎右衛門を「水の神」とあがめるようになりました。

長溝は、300年以上経った現在でも、多くの区間で使われており、新庄北部と余田堀の水田を潤しています。

毎年8月19日に、岩政次郎右衛門の墓前にて長溝祭が行われています。また、毎年5月には、溝さらえ等の作業を欠かすことなく続けています。



岩政次郎右衛門肖像
(新庄小学校蔵)

●長溝の見どころ



①長溝完成当初の取水口
昭和10年頃。冬期はダム湖に半分沈んでいる。
※写真は谷林博「ふるさとの思い出写真集 明治大正昭和柳井」より転載



③黒杭川上流ダムと現在の取水施設

取水口は1968年(昭和43年)、黒杭川ダム建設時に460m上流へ移された。下の写真は、黒杭川上流ダム建設前まであった新一の井手。



②「一の井出跡」碑
1976年(昭和51年)、新庄長溝水利組合が元の取水口そばに建立。

⑫岩政家墓地

①岩政次郎右衛門越智清信大人奥都城

1917年(大正6年)、顕彰碑として建立された。

②贈位記念碑

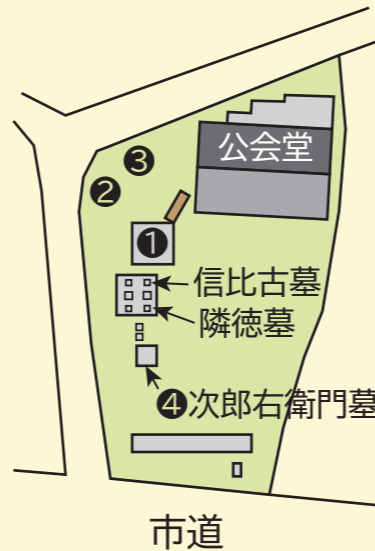
1928年(昭和3年)、長溝を完成させた功績により従五位が贈られた。1933年(昭和8年)に記念碑を建立した。

③「記(紀)念樹」碑

1935年(昭和10年)に植樹した。

④岩政次郎右衛門墓

背面に「治郎右門」「長溝」と刻まれている。

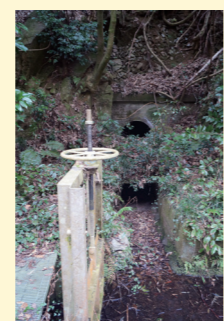


●もうひとつの長溝(黒杭溜池線)

柳井中心部の上水道敷設にあたり、安定した農業用水を確保するため、1937年(昭和12年)に黒杭溜池をつくり、1939年(昭和14年)に新しい長溝を造った。取入口から分水ますまでの延長は約2,320m。かつては分水ますから余田・柳北方面にも導水していた。



⑬黒杭溜池



⑭取入口とトンネル

⑮分水ます



長溝ホームページ
QRコード

コースや詳細情報は、スマートフォンやパソコンなどでご覧ください。